
STN インターネットセミナー

かんたんアラート登録



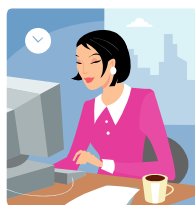
本日の内容

- ・ STN のアラートの特長や登録方法
- ・ STN のアラートの新機能
 1. STANDARD オプション **【DEMO】**
 2. パッケージアラートの毎週配信が可能に



アラート（自動 SDI 検索）とは

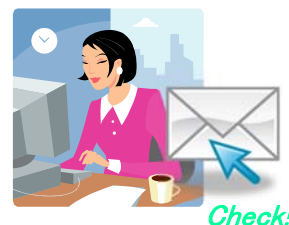
① アラートを登録



② 定期的に検索が
自動実行される

STN[®]
THE CHOICE OF PATENT EXPERTS™

③ 定期的に回答が
配信される



一度登録をするだけで、定期的に最新情報を入手！

注目特許の経過情報、ライバル他社の特許出願動向、
自社開発医薬品の副作用情報など

STN のアラート

入手したい情報や配信方法などを
自由にカスタマイズできます！

新規レコードだけでなく
対応特許の追加も知りたい

複数ファイルの回答を
重複除去したい

毎週配信してほしい

RSS 配信してほしい



登録方法

単一ファイルアラートの登録例

=> FILE CAPLUS

=> S (MERCK OR PFIZER OR BAYER)/PA

L1 66293 (MERCK OR PFIZER OR BAYER)/PA

=> SDI

* この後、詳細設定のオプションが表示されるので、指定する



アラート登録完了！

本日の内容

- ・ STN のアラートの特長や登録方法
- ・ STN のアラートの新機能
 1. STANDARD オプション 【DEMO】
 2. パッケージアラートの毎週配信が可能に



新機能 1 – SDI STANDARD オプション

従来のアラート登録

=> SDI

登録時の設定項目は 19 項目*



=> SDI STANDARD

6 項目*で OK!



簡単!

アラートの設定項目

SDI STANDARD 登録時に設定する 6項目

L 番号	アラート登録をする質問式を指定
更新コード	どのような情報入手したいかを指定
タイトル	アラートのタイトルを付与
メールアドレス	配信先の e-mail アドレスを指定
表示形式	回答の表示形式を指定
コストセンター	STN 利用明細書に指定したコストセンターが表記される

上記以外の項目は自動的に登録されるが、後で変更できる

例) 重複除去設定 は「重複除去を行わない」設定で登録

重複除去設定

重複除去を行う設定にすると、
同じレコードは、最初の一回だけ配信される

- CAplus ファイルの場合



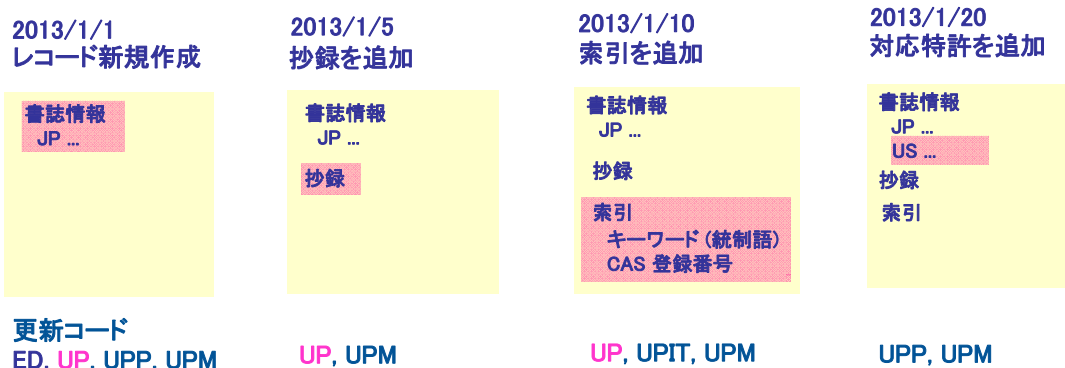
重複除去を行わないと、同じレコードが複数回配信される
ことがある

SDI EDIT コマンドで設定を変更できる (デモで紹介)

更新コード

レコード中の何の情報更新されたレコードを
検索対象とするか、更新コードで指定する

レコード作成の流れと更新コードの関係 (CAplus ファイル)



CAplus ファイルの更新コード

更新コード	検索対象
ED	新規作成されたレコードのみ
UPP	新規作成されたレコード + 対応特許が追加されたレコード
UP	何らかの情報が更新されたレコードすべて * 対応特許のみが追加されたレコードは除く * CA ファイル収録 (索引完成) 後のレコードは除く
UPIT	CAS 登録番号索引が追加されたレコード (Prophetic 物質の追加も含む)
UPM	何らかの情報が更新されたレコードすべて (ED+UP+UPIT+UPP)
UPOG	被引用文献情報が追加されたレコード

更新コードの選択 - CAplus ファイル

- 生分解性ポリマーに関する文献情報をいち早く入手したい

=> S BIODEGR? (2A) ?POLY? AND C08!/IPC

* キーワード情報の更新をすべて含むような更新コードを選択する

	更新コード	重複除去設定
対応特許追加情報を入手したい	UPM	N
対応特許追加情報は不要	UPM	Y

対応特許の追加を知りたい場合は、
重複除去設定を N にする

WPI ファイルの更新コード

更新コード	検索対象
ED	新規作成されたレコード
UPEQ	対応特許が追加されたレコード
UPP	新規作成されたレコード + 対応特許が追加されたレコード
UP	何らかの情報が更新/変更/修正されたレコードすべて

更新コードの選択 - WPI ファイル

- サントリー株式会社の特許が発行されたらチェックしたい

⇒ S SUNTORY/PA OR SUNR/PACO

* WPI ファイルの出願人情報は、レコード作成時と対応特許の追加時に更新される

➡ 更新コード UPP もしくは UP を選択

	更新コード	重複除去設定
対応特許追加情報を入手したい	UPP	N
対応特許追加情報は不要	UP	Y

INPADOCDB ファイルの更新コード

検索対象	公報単位	ファミリー単位
新規公報の書誌情報が入力されたレコード	ED	UPFP
法的状況が更新されたレコード	UPLS	UPFL
新規公報の書誌情報が入力されたレコード + 法的状況が更新されたレコード	EDLS (ED+UPLS)	UPFE (UPFP+UPFL)
何らかの情報が更新されたレコードすべて	UPM	UPFA

更新コードの選択 - INPADOCDB ファイル

- 欧州公開特許 EP1881063 について追跡調査したい

=> FILE INPADOCDB

=> S EP1881063/PN

	更新コード	重複除去設定
登録特許発行と法的状況	EDLS	N
法的状況のみ	UPLS	N
対応特許発行とその法的状況	UPFE	N

法的状況を追跡する際は
重複除去設定を N にする

本日の内容

- ・ STN のアラートの特長や登録方法
- ・ STN のアラートの新機能
 1. STANDARD オプション 【DEMO】
 2. パッケージアラートの毎週配信が可能に



STN のアラートの種類

単一ファイル	単一ファイルアラート
複数ファイル	マルチファイルアラート 各ファイルの更新ごとに回答が配信されるアラート
	パッケージアラート 複数ファイルの回答が一括配信されるアラート アラートの管理が簡単！ 
	SMARTracker REGISTRY から CAplus/CA へのクロスオーバー 検索を含むアラート * 関心のある物質の最新文献情報を入手できる

新機能 2

パッケージアラートの毎週配信が可能に！

従来、パッケージアラートの配信頻度は
毎月のみだった



配信頻度に**毎週**が追加された 

* より速報性の高い情報が入手可能に！

パッケージアラート - 毎週配信のイメージ

日付	配信日	A ファイル	B ファイル
1 (木)			
2 (金)			
3 (土)			
4 (日)			
5 (月)			
6 (火)			
7 (水)		1~7日分の検索を実行	
8 (木)			
9 (金)			3~9日分の検索を実行
10 (土)			
11 (日)			
12 (月)	回答配信日		

A ファイルの回答と B ファイルの回答が
重複除去され、一括配信される

パッケージアラート - 重複除去

- 単一ファイルアラートと同じく、
同じレコードは、最初の一回だけ配信される
- 同じ文献由来のレコードは、**ファイル間で重複を除いて一括配信される**（**優先ファイルの指定も可能**）

各ファイルの回答

A ファイル **【優先】**
文献 1, 文献 2

B ファイル
文献 1, 文献 4

重複除去して一括配信

文献 1, 文献 2
文献 4



管理が簡単！

まとめ

- ・ STN のアラートの新機能
 1. STANDARD オプション
アラート登録が簡単に！
 2. パッケージアラートの**毎週**配信が可能に
- ・ アラートの設定
更新コードと**重複除去設定**の組み合わせ

参考資料

- STN アラートポケットガイド

<http://www.jaici.or.jp/stn/pdf/alert.pdf>

- STN のアラート

<http://www.jaici.or.jp/stn/alert/stnalert.html>

アラートの件数予測や課金のしくみ、
よくあるご質問なども掲載しています！



■ SDI STANDARD によるアラートの登録

=> FILE CAPLUS ← アラート登録するファイルに入る

=> S FUEL CELL (S) (HIGH TEMP? OR HEAT RESIST?) ← 質問式を入力
L1 5303 FUEL CELL (S) (HIGH TEMP? OR HEAT RESIST?)

=> SDI STANDARD ← アラートを登録

6 項目

ENTER QUERY L# FOR SDI REQUEST OR (END): L1
 ENTER UPDATE FIELD CODE (UP), UPM, UPIT, UPI, ED, UPP, UPOG OR ?: UPM
 ENTER COST CENTER (NONE) OR NONE: R&D
 ENTER TITLE (NONE): FUEL CELL
 ENTER EMAIL ID (0000T): SUPPORT@JAICI. OR. JP
 SUPPORT@JAICI. OR. JP
 ENTER PRINT FORMAT (BIB) OR ?: ALL
 QUERY L1 HAS BEEN SAVED AS SDI REQUEST 'AA001/S'

← L 番号 ①
 ← 更新コード ②
 ← コストセンター ④
 ← タイトル ⑤
 ← メールアドレス ⑦
 ← 表示形式 ⑩

=> D SAVED/S ← 登録したアラートを確認

NAME	CREATED	NOTES/TITLE
AA001/S	09 JUL 2013	SDI REQUEST FOR FILE CAPLUS FUEL CELL

アラート登録名 (AA001/S) タイトル (FUEL CELL)

■ 参考 : SDI コマンドによる登録

=> SDI 網掛けの項目は SDI STANDARD では自動的に設定される

19 項目

ENTER QUERY L# FOR SDI REQUEST OR (END): L1
 ENTER UPDATE FIELD CODE (UP), UPM, UPIT, UPI, ED, UPP, UPOG OR ?: UPM
 ENTER SDI REQUEST NAME, (AA002/S), OR END: FUELCCELL/S
 ENTER COST CENTER (NONE) OR NONE: R&D
 ENTER TITLE (NONE): FUELCCELL
 ENTER METHOD OF DELIVERY (EMAIL), ONLINE OR RSS: _
 ENTER EMAIL ID (0000T): SUPPORT@JAICI. OR. JP
 SUPPORT@JAICI. OR. JP
 RECEIVE DELIVERY NOTIFICATION? Y/(N): Y
 ELIMINATE PREVIOUSLY SEEN ANSWERS WITH EACH SDI RUN? Y/(N): Y
 ENTER PRINT FORMAT (BIB) OR ?: ALL
 HIGHLIGHT HIT TERMS? (Y)/N: _
 ARCHIVE ANSWERS? Y/(N): _
 REDISTRIBUTE ANSWERS? Y/(N): _
 ENTER MAXIMUM NUMBER OF HITS TO BE DELIVERED PER RUN (100): _
 SORT SDI ANSWER SET (N)/Y?: _
 SEND SDI WITH NO ANSWERS? (Y)/N: _
 DISPLAY CURRENCY INFORMATION? (Y)/N: _
 ENTER SDI RUN FREQUENCY - DAILY, (WEEKLY), BIWEEKLY, OR ?: _
 ENTER SDI EXPIRATION DATE 'YYYYMMDD' OR (NONE): _
 QUERY L1 HAS BEEN SAVED AS SDI REQUEST 'FUELCCELL/S'

← ① L 番号
 ← ② 更新コード
 ← ③ アラート登録名
 ← ④ コストセンター
 ← ⑤ タイトル
 ← ⑥ 入手方法
 ← ⑦ メールアドレス
 ← ⑧ STNmail 送付確認
 ← ⑨ 重複除去の設定
 ← ⑩ 表示形式
 ← ⑪ ヒットタームハイライト
 ← ⑫ 著作権に関する指定
 ← ⑬ 著作権に関する指定
 ← ⑭ 最大出力件数
 ← ⑮ 回答の並べ替え
 ← ⑯ 回答がない場合の通知
 ← ⑰ 特許追加状況の添付
 ← ⑱ 実行頻度
 ← ⑲ アラート実行の終了日

* 各項目でピリオドを入力すると、デフォルトの設定 (括弧内の設定) を選択できる。

=> D AA001/S ← SDI STANDARD で登録したアラートの内容を確認

NAME	CREATED	NOTES/TITLE
AA001/S	09 JUL 2013	SDI REQUEST FOR FILE CAPLUS FUEL CELL
COST CENTER		R&D
UPDATE QUALIFIER		UPM
METHOD OF DELIVERY		EMAIL
EMAIL ID(S)		SUPPORT@JAICI. OR. JP
NOTIFICATION		NO
PRINT FORMAT		ALL
MAXIMUM NUMBER OF HITS		
TO BE DELIVERED		100
HIGHLIGHTING		YES
DUPLICATE ELIMINATION		NO
SEND SDI WITH NO ANSWERS		YES
SDI RUN FREQUENCY		WEEKLY
DISPLAY QUERY WITH RESULTS		YES
DISPLAY CURRENCY MESSAGE		YES

← 自動的に「重複除去しない」設定となっている

=> SDI EDIT ← SDI EDIT コマンドで設定変更

ENTER SDI NAME TO BE EDITED OR (END):AA001/S

PARAMETER	SETTING
SDI Name and Creation Date	AA001/S 09 JUL 2013
	SDI REQUEST FOR FILE CAPLUS
1 Title	FUEL CELL
2 Cost Center	R&D
3 Update Qualifier	UPM
4 Method of Delivery	EMAIL
5 Email ID(s)	SUPPORT@JAICI. OR. JP
6 Max Hits to be Delivered	100
7 Print Format	ALL
8 SDI Sort Parameters	NOT SPECIFIED
9 Archive Answers	0
10 Redistribute Answers	0
11 Notification	NO
12 Highlighting	YES
13 Send SDI with No Answers	YES
14 Duplicate Elimination	NO
15 Display Query with Results	YES
16 Display Patent Currency	YES
17 SDI Run Frequency	WEEKLY
18 SDI Expiration Date	NOT SPECIFIED

現在の設定が
表示される

19 L10 QUE SPE=ON ABB=ON PLU=ON FUEL CELL (S) (HIGH TEMP? OR HEAT
RESIST?)

ENTER LINE NUMBER(S) FOR CHANGE, END, OR (?):14 ← 変更したい設定の番号を入力

PARAMETER	SETTING
SDI Name and Creation Date	AA005/S 02 JUL 2013
	SDI REQUEST FOR FILE CAPLUS
1 Title	FUEL CELL
:	
14 Duplicate Elimination	YES ← NO から YES に変更されている
:	
19 L10 QUE SPE=ON ABB=ON PLU=ON FUEL CELL (S) (HIGH TEMP? OR HEAT RESIST?)	

ENTER LINE NUMBER(S) FOR CHANGE, END, OR (?):END ← 他に変更したい設定がなければ END と入力

SAVE THE CHANGES? (Y)/N:Y ← 変更を保存するか確認されるので Y と入力

SDI REQUEST 'AA001/S' HAS BEEN EDITED ← 設定が変更された